

常設展 【展示室1】

百華爛漫 3/14回～5/7回

近代洋画のアンサンブル 5/13回～6/18回

湖国めぐる美術の旅 6/25回～8/20回

春拳を知ろう 8/22回～10/1回

千年の秘仏と近江の風景(仮)

10/7回～11/19回

当館と滋賀県立琵琶湖文化館(休館中)との共催企画です。寺外初公開となる秘仏とともに、両館の収蔵品から貴重な文化財を育んだ近江の情景をあらわした作品を展示します。

見立ての美 11/23回～12/20回



重要文化財(十一面観音立像)
平安時代 正福寺(湖南市)蔵

常設展 【小倉遊亀コーナー】

当館の開館に際して、自作を寄贈いただいた滋賀県大津市出身の日本画家、小倉遊亀(1895～2000)の作品をご紹介します。

小倉遊亀の弟子たち 4/4回～6/18回 (5/8回～5/12回は休室)

物語を描く―挿絵の仕事― 6/25回～10/1回

静物画、そして下絵 10/7回～12/20回 (11/20回～11/22回は休室)

常設展 【展示室2】

川内倫子と滋賀 1/11回～5/7回

企画展の開催にあわせ、2021年に当館のリニューアルオープンのために撮り下ろされた写真を中心にして再構成された作品や、川内が13年にわたって家族を撮り続けた「Cui Cui」(2005)、そして、滋賀県甲賀市にある福祉施設「やまなみ工房」を撮影したシリーズ「やまなみ」(2022)など、川内の作品の中でも特に滋賀との関わりが深いものを特集展示します。



川内倫子「無題」2021年

SMoA コレクション ―アール・ブリュット―

5/13回～6/18回

SMoA コレクション ―近現代美術1―

6/25回～10/1回

SMoA コレクション ―近現代美術2―

10/7回～12/20回 (11/20回～11/22回は休室)

美術館利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休館)、2023年6月19日(月)～6月24日(土)、10月2日(月)～10月6日(金)、11月20日(月)～11月22日(水)、2023年12月21日(木)～2024年4月頃まで改修工事のため休館予定

観覧料 【常設展】 一般:540円(団体:430円)

高校・大学生:320円(団体:260円)

※中学生以下、滋賀県内居住の65歳以上、身体障害者手帳等をお持ちの方は無料

※常設展を開催していない期間あり

【企画展】 展覧会によって異なる(企画展の観覧券で

同時に開催している常設展示も観覧可)

アクセス

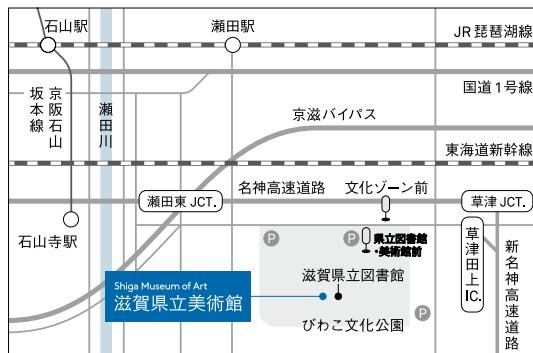
電車・バスご利用の場合

1. JR 琵琶湖線瀬田駅下車
2. 帝産バス「大学病院行」に乗り「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」で下車(便によって停まるバス停が異なります)、徒歩約5分

自家用車をご利用の場合

1. 新名神高速道路草津田上インターを下り約5分
2. びわこ文化公園の駐車場(無料・3カ所)から徒歩約5分

※高齢や障害などで歩行が困難な方がいらっしゃる場合は、東駐車場のゲートから美術館エントランス前専用駐車場まで乗り入れていただけます。



Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1

TEL.077-543-2111 FAX.077-543-2170

https://www.shigamuseum.jp



発行者: 滋賀県立美術館 発行日: 2023年3月10日 印刷・デザイン: 宮川印刷株式会社

お得な滋賀県美メンバーズ(年間パスポート)

【年会費】 一般:2,400円 高校・大学生:1,600円 小・中学生:1,200円

【特典】 ・有効期間内(最初の利用日から1年)はすべての展覧会を何度でも観覧可

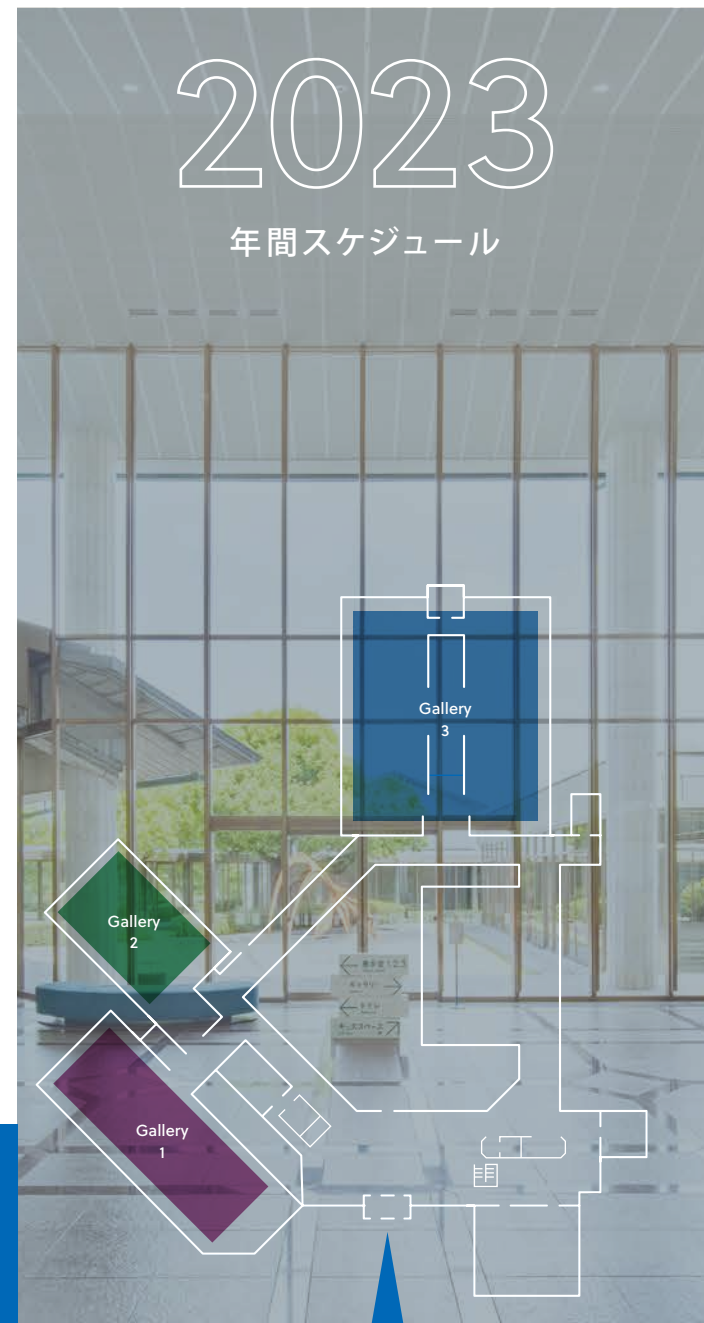
・館内カフェでドリンク5%OFF ・美術館主催のイベントに優先参加

・展覧会・アート情報を郵送やメールでお届け **お申し込みは館内受付まで**

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

2023

年間スケジュール



Shiga Museum of Art 2023 Schedule

2023

企画展

常設展

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1 - 3

展示室3

小倉遊亀と日本美術院の画家たち展
横山大観、菱田春草、安田靉彦、前田青邨、速水御舟 ほか
4/29(土)～6/18(日)
前期：～5/21(日) 後期：5/23(火)～
44日間

今森光彦 里山 水の匂いのするところ
7/8(土)～9/18(月)
63日間

「見る」だけではない展覧会(仮)
10/7(土)～11/19(日)
38日間

県展
12/7(火)～
12/20(水)
休場日あり

展示室1

百華爛漫
3/14(火)～5/7(日)

近代洋画のアンサンブル
5/13(土)～6/18(日)

湖国めぐる美術の旅
6/25(日)～8/20(日)

春拳を知ろう
8/22(火)～10/1(日)

千年の秘仏と近江の風景(仮)
10/7(土)～11/19(日)

見立ての美
11/23(火)～
12/20(水)

小倉遊亀
コーナー

小倉遊亀の弟子たち
4/4(火)～6/18(日) (5/8(火)～5/12(土)は休室)

物語を描く—挿絵の仕事—
6/25(日)～10/1(日)

静物画、そして下絵
10/7(土)～12/20(水) (11/20(月)～11/22(火)は休室)

展示室2

川内倫子と滋賀
1/11(火)～5/7(日)

SMoA コレクション
—アール・ブリュット—
5/13(土)～6/18(日)

SMoA コレクション —近現代美術1—
6/25(日)～10/1(日)

SMoA コレクション —近現代美術2—
10/7(土)～12/20(水) (11/20(月)～11/22(火)は休室)

展覧会名称は仮称のものを含みます。

12/21(火)～
2024年4月頃まで
改修工事のため
休館予定

企画展

【展示室3】

小倉遊亀と日本美術院の画家たち展

横山大観、菱田春草、安田靉彦、前田青邨、速水御舟 ほか

4/29(土)～6/18(日) 前期：4/29(土)～5/21(日) 後期：5/23(火)～6/18(日)



小倉遊亀《径》1966年 東京藝術大学蔵

1984年に開館した当館は、2024年に40周年を迎えます。これを記念して、当館のコレクション形成に大きく尽力した小倉遊亀を一望する展覧会を開催します。初期から晩年にわたる当館所蔵品を中心に、各地で収蔵されている代表作や、アトリエに残された下絵や原稿などの資料も加えて展示します。また、遊亀に影響を与えた、師の安田靉彦や先輩の速水御舟ら日本美術院の作家の作品をあわせて、約90件(会期中展示替えあり)を紹介します。

今森光彦 里山 水の匂いのするところ

7/8(土)～9/18(月)



今森光彦《比叡山の裾野に広がる田植えの頃の棚田》1995年

滋賀県に生まれ、第20回木村伊兵衛写真賞、第28回土門拳賞をはじめ、数々の賞を受賞している写真家・今森光彦の当館では初めてとなる写真展を開催します。本展では、今森が長年撮り続けてきた滋賀の「里山」を通して「水」の循環に着目します。水は奥山から人々の住処を流れ琵琶湖へと戻り、大気を通して再び大地へと還ってゆきます。里山に宿る多様な生態系と土壌となっている豊かな環境は、私たちの忘れてしまった原風景を水の匂いとともに思い出させてくれるかもしれません。

「見る」だけではない展覧会(仮)

10/7(土)～11/19(日)



あたりまえとしてきた美術鑑賞のルールを考え直したり、普段は美術館と距離がある人々と話し合ったりして、作り上げる展覧会です。コレクション作品の展示を中心に、さわったり、対話したり、また自分でついたり、視覚的に「見る」だけではない、様々なアートとの出会いを提案します。いつもとはちょっと違った美術館体験をお楽しみください。

ワシリー・カンディンスキー《小さな世界1》
1922年 滋賀県立美術館蔵

県展「第77回滋賀県美術展覧会」

12/7(火)～12/20(水)

77年の歴史を持つ県展。工芸・書部門と平面・立体部門の2期に分けて展示します。